

日本・韓国・在日コリアンの若者たちの15年の歩みを描く

笹の墓標

監督 影山あさ子・藤本幸久 / 9時間7分 / HDV / 企画・製作・著作 森の映画社 2013年

第一章 朱鞠内 (113分)

1997年、北海道幌加内町朱鞠内。戦時下に行われたダム工事と鉄道工事の犠牲者の遺骨を発掘しようと日本と韓国、在日コリアンの若者たちが集まり、4体の遺骨が発掘された。初めての出会いと共同作業。すぐに仲良くなれるかに思われた若者たちだったが、日本人と韓国人の間に衝突が起こる。

第二章 浅茅野 (98分)

北海道猿払村浅茅野。2006年から2010年まで、3度にわたる旧日本陸軍飛行場建設工事犠牲者の遺骨発掘が行われた。考古学の専門家たちの参加を得て、丁寧に進められる発掘。39名の遺骨が発掘された。小さな穴に折りたたむように押し込まれた遺骨の姿から、強制労働の実態が浮かび上がる。

第三章 遺族 (109分)

遺骨を遺族に返したい。手がかりを求め、遺族や強制労働の体験者たちを訪ねる若者たちの旅が続く。戦後60年以上が過ぎても、消えない犠牲者遺族の悲しみ。帰る場所を見つけれない数々の遺骨。長い道のりを経て、4体の遺骨が韓国人遺族へ返還されることになった。被害者と加害者の和解は、はたして可能なのか。

第四章 未来へ (120分)

97年以来、毎年、夏と冬のワークショップが続いてきた。若者たちは、国境を超えて生きる場所を見出してゆく。2003年に始まるイラク戦争、拉致問題から再び強まる日本の排外主義。ともに平和な未来を生きてゆきたいという若者たちの願いは…。


第五章 私たち (107分)

2012年夏。炭鉱で働かされ、人知れず闇埋葬された犠牲者の遺骨を発掘するため、北海道芦別市に集まった若者たち。かつての若者たちも父となり、母となった。今日も笹の墓標の下に眠り続ける遺骨の数々。そして、家族のもとに帰ることができない遺骨。若者たちの旅は、まだ、終わらない。



スタッフ

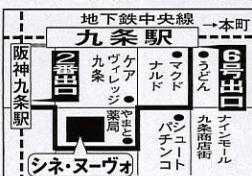
企画・製作・著作 森の映画社
プロデューサー 藤本幸久
監督 影山あさ子・藤本幸久
撮影 小寺卓矢 / 藤本幸久 / 影山あさ子 / 栗原良介
撮影協力 宮崎利春 / 山崎耕太
映像提供 日韓共同ワークショップ委員会 / 東アジア共同ワークショップ委員会 / チョン・ビョンホ(ハニャン大学) / 北海道放送 / 谷上隆 / 李紅培 / 南北子どもオケドンドム
資料提供 神戸学生青年センター出版部 / 竹内康人
編集 栗原良介
音楽 川端潤 (Airplane Label)
録音スタジオ Studio Airplane
歌 趙博「ヨイトマケの唄」
題字 殿平善彦
タイトルデザイン ねこまたや
日本語字幕 カン・ホボン / 洪里奈 / 影山あさ子 / ソン・ギチャン / 李和美

助成:  文化芸術振興費補助金

5プログラム券 前売3000円 / 当日4000円

■当日料金: 一般 1回券1500円、学生1200円
会員・シニア 1回券1000円 / 5回券3000円

11/2(土)~11/8(金)	11:00 第1章	13:20 第2章	15:20 第3章	17:30 第4章	19:50 第5章
11/9(土)~11/15(金)	11:00 第4章	13:20 第5章	15:30 第1章	17:50 第2章	19:50 第3章
11/16(土)~11/22(金)	11:00 第1章	13:20 第2章	15:20 第3章	17:30 第4章	19:50 第5章



シネ・ヌーヴォーX
地下鉄中央線「九条駅」6号出口徒歩3分
阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩3分
TEL.06-6582-1416
<http://cinenuveau.com/>

※各回入替制 ※11/21(木)17:30 / 19:50の回休映